

議 会

だより

発行/秩父別町議会
編集/町議会広報特別委員会
TEL/0164-33-2111
(議会事務局 内線25・26)



新春もちつきまつり（1月12日）

第4回町議会定例会 12月12日

令和元年第4回定例会が12月12日に開催され、一般質問6名、条例の設定等14件、補正予算4件、指定管理者の指定2件を審議し、原案どおり可決しました。

また、所管事務調査の報告では上下水道事業の状況及び農産物の収穫状況について報告をうけました。

◆条例の設定等

・秩父別町会計年度任用職員の給与等に関する条例の設定について

・町長、議会議員、職員等給与等の一部を改正する条例について

ほか9件

◆指定管理者の指定

【デイサービスセンター】
株式会社ポポ
令和2年4月1日から
令和5年3月31日まで

【ベルパークちっぷべつ
屋内・屋外遊戯場】
株式会社秩父別振興公社
令和2年4月1日から
令和5年3月31日まで

◆補正予算

令和元年度一般会計で補正された主な事業

- ・新築住宅取得補助金
- 5,000千円
- ・ふるさと納税返礼品
- 23,295千円
- ・保養研修施設ドア改修
- 宿泊棟喫煙室設置
- 7,141千円

ほか、合わせて49,143千円を追加する一般会計予算案を可決しました。

その他、介護保険特別会計、農業集落排水事業特別会計、簡易水道事業会計の補正予算案を可決しました。

所管事務調査の 申し出

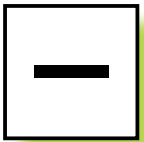
議会閉会中の所管事務調査について、議会運営委員会から、次のとおり申し出がありました。

○議会運営委員会
・次期町議会（定例会までの臨時会を含む）の運営について

臨時会

◆第6回臨時会
11月5日に第6回町議会臨時会が開催され、土地改良事業の実施について、一般会計補正予算案及び簡易水道事業会計補正予算案を審議し、原案どおり可決しました。





一般

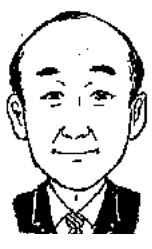
質

問

(質問と答弁の内容を要約してお知らせします)

公営（公設）塾の導入について

質問 眞島議員



本町の子育て支援事業は、それぞれ内容的にも充実しており、近隣の町に比べ子育て世代の移住、定住が進んでおります。

現在、新聞等でも目にしますが、空知管内でも公営塾を開設し、学校以外での学習を習慣化させ学力向上につなげ、全国学力テストの正当率が上昇していると報道されております。

保護者側からしても、子供の将来のためにも高い学力を身につける事を願っており、本町独自の教育環境を確立するためにも、公費による学習塾を導入しては

どうかと思いますが、教育長の考えをお伺いいたします。

答弁 小林教育長

一般的には子ども達を学習塾に通わせる事によって、基礎学力の向上や補充を図り、中学生であれば希望する高校に入学するための学力の補填を行うなど、大きな成果が期待できるものと考えております。

現在、学習塾に通っている子供の数は、小学生9名、中学生11名で、しかも多くの保護者が深川市内の塾まで送り迎えしていると把握しております。

こうした実態を見ましても、塾に通わせたいと考えている保護者が少なくないと言いう事がわかります。

本町においては、平成29年12月に、公設塾設置に関わる協議会を開催・検討し

てきた経緯がございます。今後はその際の貴重な意見をふまえ、子ども達や保護者、学校の意見を改めて伺った上で、公費による学習塾の導入について検討していくことが望ましいのではないかと考えております。



小学校での授業風景

町民の健康増進策について

質問 前田議員



秩父別町では、65歳以上の町民が46%を超え、高齢化が進んでいます。年々一人当たりの診療費、介護保険料などが増加しています。

これらを抑制するためには、年齢に関わらず日常生活の中で気軽に運動をして健康寿命を延ばすことが重要で、横浜市では万歩計を推進し、30万人を超える市民がウォーキングを行うことで健康増進に大きな成果を上げています。

本町でも、気軽に一人でも楽しめるウォーキングを周知し、参加者を増やすことで健康寿命を伸ばしていくことが必要であると考えますが、町長のお考えを伺います。

答弁 澁谷町長

秩父別町では第2期健康増進計画を策定し健康づくりを推進してきており、医療費、介護給付費抑制に努めているところです。

計画の中では運動と健康情報提供、健康教室、社会教育事業、サークル活動の支援等を実施してきております。過去には万歩計を貸出した事もあり、その後はまちづくり協働隊の皆さんがフットパス事業を実施するなど町民が自主的に集まりウォーキングを楽しんで



まちづくり協働隊が実施したフットパス事業

いる状況であります。本町における健康への意識につきましては、平成29年度特定健診の受診率は全道32位であり各種がん健診も1位から3位の中に入るなど、健康に対する意識は高いと認識しております。健康づくりは若年層や健康に不安のない時期からはじめ、長く継続して取り組むことが重要であります。横浜市の取り組みは規模等本町とは大きく異なるため困難ではありますが、健康ポイント制度など、先進的な事例などを参考にし、最も効果的な方法を模索してまいります。